

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40		-	3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	1.00	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 溫熱環境				3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御				3.3	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能				3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		用途別ゾーニングがなされており、さらに、ゾーン別に冷房・暖房の選択が可能な、マルチユニット型ヒートポンプ方式(冷暖同時)システムとしている。		4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率				3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1作業単位で照明制御ができ、かつリモコンで調整ができる。		5.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.1	0.25	3.0	1.00	3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.63	3.0	1.00	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				3.5	0.38	-	-	
1 換気量		1人当たり30m ³ /hの居室換気を確保している。		4.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00	-	-	
3 パリアフリー計画				3.0	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	1.00	
1 広さ感・景観				4.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	1.00	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の修補必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトにガルバリウム鋼板ダクトの採用。 給水VLP(B)、給湯VLP(B)、排水(VP)、Eは不使用。		5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスをA以上として計画。		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 空間のゆとり		-	-	-	-	
	1 階高のゆとり		5.0	-	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	-	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	-	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.9
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	2.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.67	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.0	0.50	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	自動水栓等に加えて、節水型便器も採用。	3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60	-	-	2.5
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.6	0.20	-	-	2.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=83%	3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	○	-	-	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0			○	○	○	○	○	-	-				-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		○	○	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		2.0	1.0	1.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-			
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雜排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 転体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-							
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-								
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		-	-	3.0	3.0	1.0	-	-	1.0	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	1.0	-	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標**Q1 室内環境**

2.1.3 外皮性能

窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) -U値(W/m²K) 窓システム 4.0 屋根 2.0 外壁 2.0 床 2.0住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -

昼光率 1.5%

自然換気有効開口面積率 3.3%

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0m² /人 病床 .0m² /床 シングル .0m² ツイン .0m²

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 30.0 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 転体材料の耐用年数

想定耐用年数 25 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 4.1 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 19.9%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 4000 N/m²**Q3 室外環境(敷地内)**

1 生物資源の保全と創出

外構綠化指標 62% 建物綠化指標 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 48% 水平投影面積率 10% 地表面対策面積率 30% 蘋装面積率 6%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.67 断熱等性能等級 等級4相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 80.0% 採光を満たす住戸数 80.0%

3 設備システムの高効率化

通風を満たす教室数 80.0% 通風を満たす住戸数 80.0%

非住宅部分

太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

集合住宅の評価

BEI/BEIm 再エネ有 0.80 無 0.80 オフサイト再エネ有 - -

LR2 資源・マテリアル

一次エネ削減率 再エネ有 無 - -

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 転体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 675

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 39% 隣棟間隔指標Rw 1.17

2.2.1 温熱環境悪化の改善

地表面対策面積率 30.0% 屋根表面対策面積率 0.0% 外壁表面対策面積率 0.0%

2.2.2 地盤改良

見付面積Sb 391m² 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 59.92 m 基準高さHb 16.66 m

2.2.3 地盤改良

緑地 937m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²